

京都市指定管理施設

2022 年度
京北運動公園
事業報告書

京北スポーツネットワーク

構成団体

公益財団法人京都市スポーツ協会

近建ビル管理株式会社

イオンディライト株式会社

—目次—

| | |
|-----------------------|---|
| (はじめに) | 1 |
| 1 事業の実施状況及び施設の利用実績 | |
| (1) 事業の実施状況 | 1 |
| (2) 施設の利用実績 | 2 |
| 2 経費の収支決算 | 2 |
| 3 公園施設及び設備機器・備品等の維持管理 | |
| (1) 主な修繕・メンテナンス実績 | 3 |
| (2) 市内中小企業への発注 | 3 |
| 4 利用者ニーズの把握状況 | 3 |
| 5 その他 | |
| (1) サービスの提供計画 | 3 |
| (2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応 | 4 |
| (3) 利用促進の各種取組 | 4 |
| (4) 環境の取組 | 4 |
| (5) その他 | 5 |
| 6 管理運營業務の自己評価 | 5 |

(はじめに)

2022年度は、2020年度から続く新型コロナウイルスの影響による施設利用に関する制限が徐々に弱まり、平常状態への復帰に向け様々な取り組みを実施した1年となりました。

公益財団法人京都市スポーツ協会を代表団体とする当施設群については、近建ビル管理株式会社とイオンディライト株式会社を加えた3社で共同事業体を構成し、以下の5つの基本理念をもって管理運営に当たりました。

基本理念 『魅力あふれるスポーツの場づくり』の継続実現に向けて

- (1) 安心・安全を第一とした管理運営
- (2) 公共スポーツ施設としての公平性と柔軟性を兼ね備えた管理運営
- (3) 関係団体との連携によるスポーツ振興や競技力向上を見据えた管理運営
- (4) 多様化する利用者のニーズに対応した管理運営
- (5) 施設の特徴を理解し、地域に密着した管理運営

1 事業の実施状況及び施設の利用実績

(1) 事業の実施状況

ア スポーツ情報提供事業

当事業体の情報やイベント事業にあわせて、プロスポーツ団体の情報及び貴市の取組等を代表団体である公益財団法人京都市スポーツ協会の情報誌「ダッシュ！」に掲載し、積極的な情報発信に努めました。

また、公益財団法人京都市スポーツ協会のホームページやFacebook、Instagramに、施設の利用方法などの詳細情報を掲載し、利用拡大につながる広報案内を行いました。

イ クラブハウスの貸出事業

京北運動公園敷地内にあるモデルルーム（ハウス）をクラブハウスとして改修し、利用者の休憩、会議スペース及び雨天時の避難所として有効活用しました。

【利用件数】20件

ウ 自動販売機の設置

利用者にとって便利な場所に飲料の自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を高め、利用者サービスの向上を図りました。

エ 物品貸与事業の実施

利用者の利便性を高めるために、サッカーゴールの貸与を実施し、サービス向上に努めました。

(2) 施設の利用実績

(利用率は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う閉園期間を除いて算出)

| 施設 | 2019 | | 2020 | | 2021 | | 2022 | |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 件数 | 利用率 | 件数 | 利用率 | 件数 | 利用率 | 件数 | 利用率 |
| グラウンド | 97 | 11.5 | 92 | 12.2 | 88 | 10.1 | 74 | 10.1 |
| テニスコート | 793 | 11.2 | 638 | 10.5 | 676 | 10.4 | 711 | 10.0 |

2 経費の収支決算

| 2022年度 | | 第1 四半期 | 第2 四半期 | 第3 四半期 | 第4 四半期 | 合計 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 指定管理 収支 | 指定管理料 | 1,348,266 | 1,348,263 | 1,348,263 | 1,348,263 | 5,393,055 |
| | 利用料金収入(※) | 500,190 | 493,120 | 446,160 | 167,400 | 1,606,870 |
| | その他収入 | - | - | - | - | 0 |
| | 指定管理収入合計 | 1,848,456 | 1,841,383 | 1,794,423 | 1,515,663 | 6,999,925 |
| | 人件費 | 1,176,320 | 972,129 | 1,087,544 | 1,053,342 | 4,289,335 |
| | 通信費 | 68,112 | 63,868 | 61,738 | 56,443 | 250,161 |
| | 備品費・消耗品費 | 36,226 | 179,851 | 8,047 | 2,805 | 226,929 |
| | 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 647,900 | 647,900 |
| | 燃料費・光熱水料費 | 183,989 | 256,480 | 205,256 | 258,028 | 903,753 |
| | 保険料・租税公課 | 42,070 | 0 | 0 | 0 | 42,070 |
| | 外部委託費 | 251,158 | 251,158 | 251,158 | 251,158 | 1,004,632 |
| | その他物件費 | 13,053 | 52,984 | 15,458 | 10,636 | 92,131 |
| | 指定管理支出合計 | 1,770,928 | 1,776,470 | 1,629,201 | 2,280,312 | 7,456,911 |
| 指定管理収支 | 77,528 | 64,913 | 165,222 | △ 764,649 | △ 456,986 | |
| その他 収支 | 事業収入(その他) | 25,500 | 57,000 | 2,500 | 2,500 | 87,500 |
| | その他収入合計 | 25,500 | 57,000 | 2,500 | 2,500 | 87,500 |
| | 人件費 | 5,575 | 3,494 | 5,867 | 3,890 | 18,826 |
| | 外部委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他事業経費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他支出合計 | 5,575 | 3,494 | 5,867 | 3,890 | 18,826 |
| | その他収支 | 19,925 | 53,506 | △ 3,367 | △ 1,390 | 68,674 |
| | 事業収入(物販) | 83,218 | 109,810 | 59,819 | 53,344 | 306,191 |
| | 物販収入合計 | 83,218 | 109,810 | 59,819 | 53,344 | 306,191 |
| | 人件費 | 55,751 | 34,958 | 58,650 | 38,868 | 188,227 |
| | 外部委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他事業経費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 物販支出合計 | 55,751 | 34,958 | 58,650 | 38,868 | 188,227 |
| 物販収支 | 27,467 | 74,852 | 1,169 | 14,476 | 117,964 | |
| 収支差額合計 | 124,920 | 193,271 | 163,024 | △ 751,563 | △ 270,348 | |

3 公園施設及び設備機器等の維持管理

良好な環境衛生や美観の維持、さらに安全かつ快適な空間を保つための適切な施設・設備・植栽などの維持管理に努める一方で、市民が「安心・安全」に施設を利用できるよう、建物や設備機器を管理しました。

当施設においては、外観やその設備機器の経年劣化が著しい箇所も多いため、予防保全を基軸とした各種点検・メンテナンスを進めながら、施設・設備の長寿命化対策や安全対策工事を実施しました。

(1) 主な修繕・メンテナンス実績

- ・ 電気設備高圧機器更新、高圧気中開閉器引き紐取替
- ・ 屋外トイレ系統埋設給水管修繕
- ・ 足洗い場給水配管補修

(2) 市内中小企業への発注

京都市公契約基本条例に即して、法令上の制限や、専門的な能力を有する者に発注する必要がある場合、その他特別の事情がある場合を除き、京都市内中小企業への発注を行いました。

2022年度 市内中小企業発注比率：100.0%（4/4件）

4 利用者ニーズ等の把握状況

京北運動公園では老朽化が進んでいることから、利用者からの声をもとに、優先順位をつけて計画的な修繕に努めました。

また、昨年度に引き続き、クラブハウスと少年サッカーゴールの貸出しを行って、利用者ニーズに対応しました。

5 その他

(1) サービスの提供計画

ア 公平なサービスの考え方

当施設は、広く市民が利用できることのほか、各種競技団体が開催する大会等の利用があり、スポーツ振興の観点を大切にしながら、以下の5つを基本としてバランスのとれた質の高いサービスを提供するように努めました。

【基本方針】「サービス」「参加」「活動」「施設提供」「施設利用」の公平性

イ 効率的職員配置

常に利用者サービスの向上を念頭に置いて、有用な人材を適所に、効果的・効率的に配置し、施設を運営しました。

必要な職員数を確保し、無駄を省いて弾力的に配置しつつ、施設メンテナンス時には職員を重点的に配置しました。

ウ 職員の育成・研修体制

競技環境や利用者サービスのさらなる向上を目的として、外部団体が実施する研修

会への参加（リモート研修を含む）や、市民応対・施設管理技術のスキルアップ研修並びに勉強会を実施しました。

【内 容】 個人情報保護・セキュリティ研修、
ハラスメント研修、WEB 広告戦略セミナー、
DEI 推進男性の育休取得実現研修、
個人情報保護・セキュリティ研修、
上級施設管理士・スポーツ施設管理公認資格更新研修、
京都府体育・スポーツ施設管理者講習会

(2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応

ア 防災訓練等の実施

万が一の災害に備え、利用者の安全確保を第一優先に、迅速かつ的確な指示ができるように、スタッフ研修・訓練を実施しました。

イ 熱中症の対応について

利用者への水分補給等、熱中症対策についての声掛けや掲示物による注意喚起を積極的に行い、利用者自身の体調管理に関する意識啓発に向け、各施設にも経口補水液を常備することで、より安全なスポーツ・レクリエーション活動をサポートしました。

ウ 雷対策について

屋外施設であるため、雷警報機(ストライクアラート)を備え、利用者への無料貸出を積極的に行い、安全に施設利用できるようサポートに努めました。

エ 新型コロナウイルス感染症防止対策について

スポーツ庁や京都府発出のガイドラインや貴市の定める対策方針等に従い、適切な施設運営に努めました。アルコール消毒液や次亜塩素酸水を配備して安全衛生に努め、新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止に取り組みました。

(3) 利用促進の各種取組

少年サッカーでの利用者ニーズが大きいことから、少年サッカーゴールの貸与事業を継続実施することで、施設の多目的利用を促進し、市民サービス向上に努めました。

(4) 環境の取組

ア KES STEP1 認証取得

環境マネジメントシステム・スタンダード KES STEP1 の認証を 2009 年 7 月 1 日に取得し、様々な環境改善活動に取り組んでいます。

施設スタッフが日常的に省エネルギー対策に取り組み、節水やこまめな消灯を徹底し、利用者の協力が必須になるゴミの持ち帰りや省エネルギー等の取組については、声掛けやポスター掲示等を行い、ご理解・ご協力を得ながら取り組みました。

イ エコステーションの設置（市民スポーツ会館へ集約）

（ア）テニスボールのリユース活動（新型コロナウイルスの影響により上期は自粛）

（イ）ペットボトルキャップのリサイクル

(5) その他

ア 施設周辺の清掃活動（地域清掃活動）の取組み

施設の内側以外に周辺区域の美観を保つために、周辺に落ちているゴミを拾う清掃活動を毎月1回実施しました。

イ サイクルステーションの設置

京北地域ではサイクリングをする人が多く訪れることから、休憩などで気軽に立ち寄れる場所を設置しました。

6 管理運営業務の自己評価

2022年度は、2020年度から続く新型コロナウイルスの影響が残るなか、施設利用及び事業実施環境としては徐々に回復していく中での管理運営となりました。

経年劣化が進む施設や設備については、安心・安全確保の観点から計画的な小修繕を実施し、施設・設備の長寿命化を図ってまいりましたが、夜間照明設備の漏電や電気温水器など比較的規模の大きな修繕が必要となる設備の故障も発生し修繕の履行に至らなかったことから、施設の供用時間の短縮や供用の停止など利用者に影響を与える結果となりました。

新型コロナウイルスの影響が残る中でも、各施設の利用件数や利用率は一定の水準を維持し続けておりましたが、指定管理収支は赤字決算となりました。

市内中小企業への発注比率については、目標達成のため共同事業体とも情報共有を密に取り組み、100%と目標の90%以上を達成することができました。次期は他団体へ引き継ぐこととなりましたが、市民に影響が及ばないようスムーズな引継ぎに努めてまいります。